

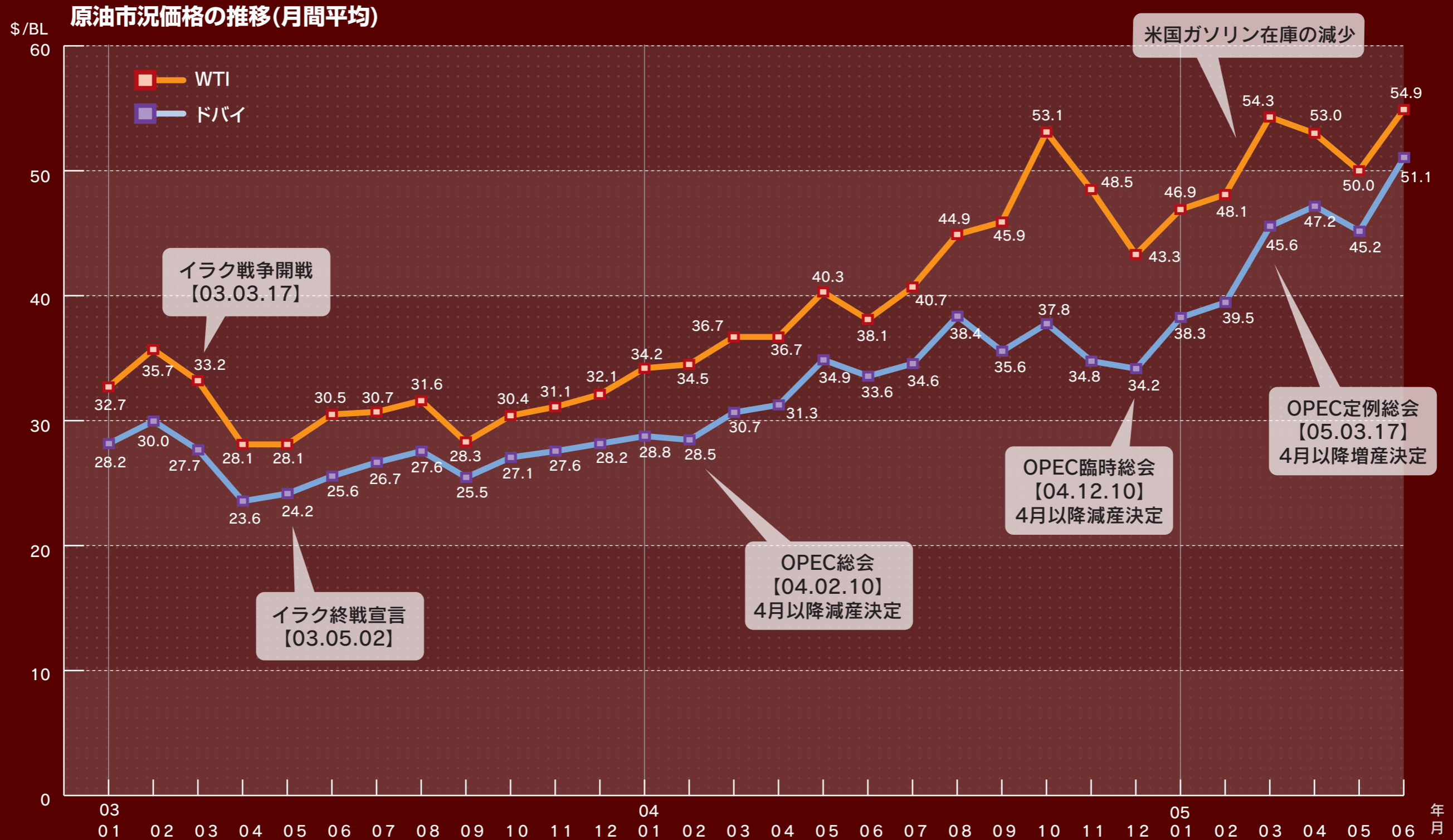
内航海運を圧迫する
燃 料 油 高 騰

～コストアップ分を運賃へ反映できなければ**死活問題**です～

日本内航海運組合総連合会
運賃・用船料委員会

燃料油高騰によるコストアップ分を運賃に反映させて下さい!

最近の原油価格の著しい高騰を受け、内航船の運航コストの過半数を占める燃料油の価格も急上昇。
 安定的な輸送を維持するためには、燃料油価格の上昇分を運賃に反映させることが不可欠です。



イラク戦争開戦
【03.03.17】

イラク終戦宣言
【03.05.02】

OPEC総会
【04.02.10】
4月以降減産決定

OPEC臨時総会
【04.12.10】
4月以降減産決定

OPEC定例総会
【05.03.17】
4月以降増産決定

米国ガソリン在庫の減少

内航海運を圧迫する燃料油高騰

内航海運を圧迫する燃料油高騰

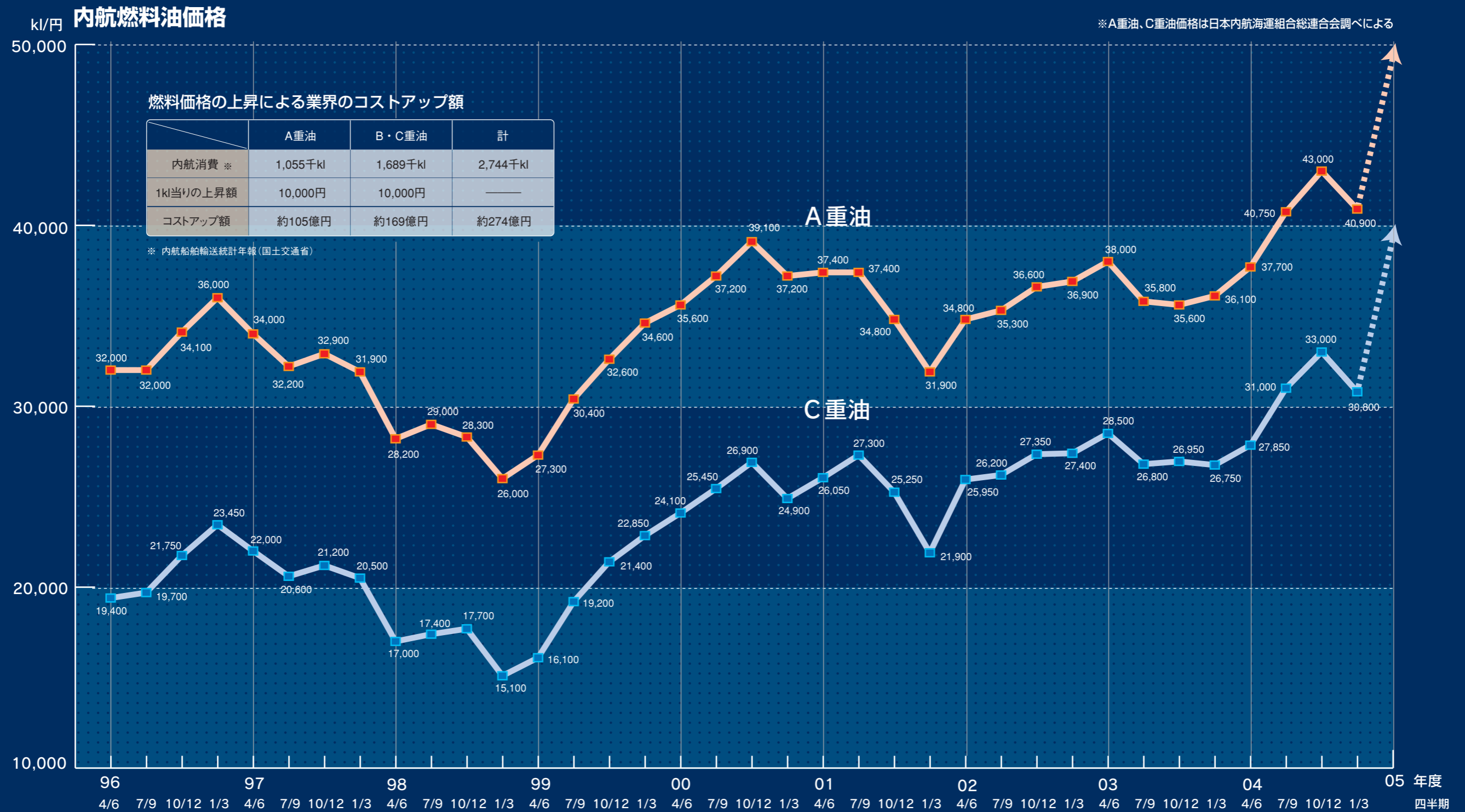
内航海運は燃料油高騰の重圧に押しつぶされています

約6,200隻の内航船舶が1年間に輸送する貨物の量は約4億5,000万ト、消費する燃料油は274万klにも及びます。

ところが、内航船の燃料油は、1年間でA重油、C重油ともkl当り10,000円も値上がりする勢いで、このままでは業界全体で約274億円ものコストアップとなります。

内航海運はいま、長期低迷する運賃に加え、燃料油の高騰が重くのしかかり、このままでは安定的な輸送が困難になります。

燃料油高騰によるコストアップ分を運賃に反映できるようご理解とご協力をお願いいたします。



内航海運を圧迫する燃料油高騰

内航海運を圧迫する燃料油高騰

燃料費高騰によるコストアップ例

船種	一般貨物船		RORO船		油送船	ケミカル船
	船型等	199G/T	499G/T	9,300G/T	13,000G/T	699G/T
積高	650t	1,500t	12m シャーシ 105台	12m シャーシ 150台	2,000kl	1,000M/T
航海速度	10.5ノット	11ノット	20ノット	30ノット	11ノット	10.5ノット
積揚地間距離	京浜～阪神 約360マイル		北関東～苫小牧 約410マイル	東京～苫小牧 約560マイル	京浜～中京 約200マイル	京浜～水島 約380マイル
年間航海数	7航海	7航海	13航海	13航海	11航海	10航海
年間の燃料総消費量	550kl	960kl	18,000kl	45,000kl	1,220kl	900kl
A/C重油の消費割合	10/0	2/8	0.5/99.5	0/10	2/8	10/0
年間燃料購入価格	2004年度 (平均値)					
	A重油 ¥40,588/kl C重油 ¥30,663/kl	2,232万円	3,134万円	55,282万円	137,984万円	3,983万円
2005年度 (予測値)						
A重油 ¥50,000/kl C重油 ¥40,000/kl	2,750万円	4,032万円	72,090万円	180,000万円	5,124万円	4,500万円
年間の燃料費増加コスト	518万円	898万円	16,808万円	42,016万円	1,141万円	848万円
積高単位当たりの増加コスト	94円/t	71円/t	5,131円/台	8,978円/台	43円/kl	70円/t

燃料油コスト上昇額の算出シート

該当船舶

船名	丸	船型	G/T	D/W・m ³	馬力	ps
速度	平均	ノット	船路(距離)	～	(マイル)
積高	平均	トン・m ³				

1航海当たりの平均燃料消費量

A重油	kl ①	C重油	kl ②
-----	------	-----	------

月間平均航海数

航海数	航海 ③
-----	------

1ヵ月間の平均燃料消費量

A重油 ①×③	kl ④	C重油 ②×③	kl ⑤
---------	------	---------	------

燃料油の価格差(1kl当たり)

年 月購入	A重油	円 ⑥	C重油	円 ⑦
年 月購入	A重油	円 ⑧	C重油	円 ⑨
価格差	A重油 ⑧-⑥	円 ⑩	C重油 ⑨-⑦	円 ⑪

1航海当たりの燃料費コストアップ額

円 ⑫	(①×⑩+②×⑪)
-----	-----------

積高当たりの燃料費コストアップ額

円	(⑫÷積高)
---	--------

月間の燃料費コストアップ額

円 ⑬	(③×⑫)
-----	-------

年間の燃料費コストアップ額

円	(⑬×12)
---	--------

内航海運を圧迫する燃料油高騰